

太陽の広場見学会



第2回こどもプラザ事業 連絡会

山田第二小学校「太陽の広場」見学会 令和5年11月22日(水)午後1時30分～
暖かく、お天気に恵まれた中、フレンド8名、地域教育協議会会長2名の計10名の参加で見学会を開催しました。

はじめに、フレンドさん、ブロックアドバイザーから山二小の太陽の広場についてのお話を聞き、その後子供たちの活動を自由に見学しました。外では野球、サッカー、ザリガニ釣り、室内では学習や活動プログラムも行われ、子供たちがのびのびと遊んでいる姿を見ることができました。見学後はみんなで感想や自校の広場の様子や気になる点など、意見交流をしました。

4年ぶりでしたが、見学会を開催することの意義を感じた1日となりました。



～地域コミュニティづくりをめざして 令和6年2月発行

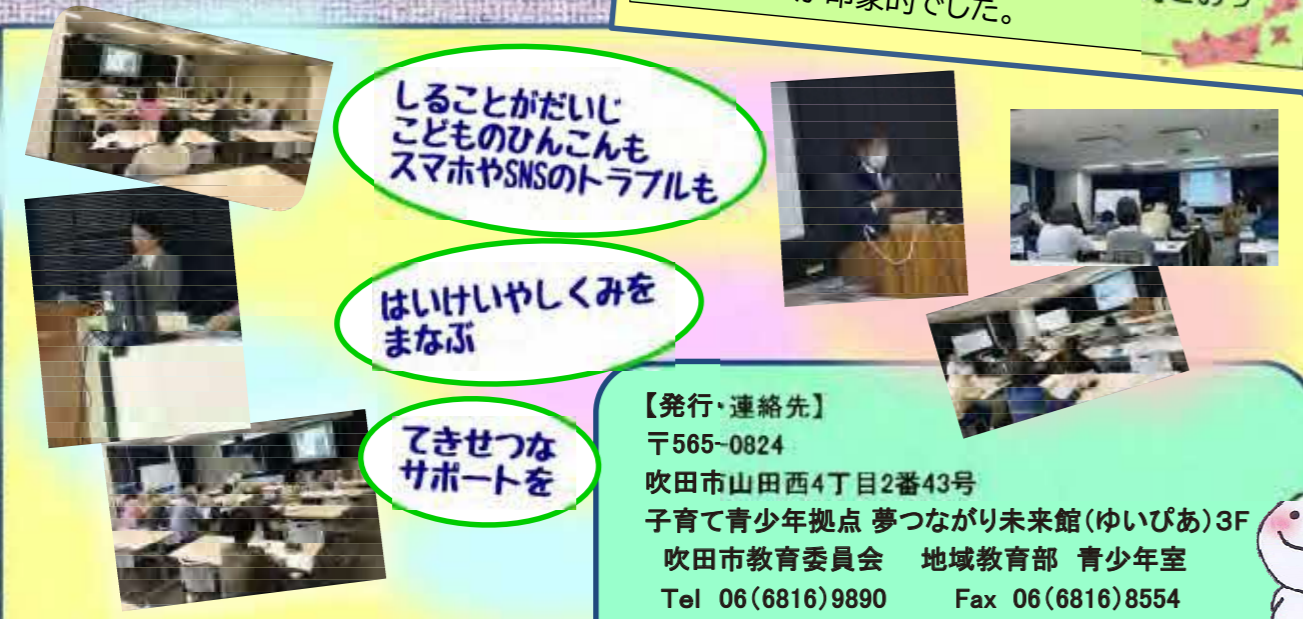
教育コミュニティ 北東西南 NEWS 2023

今年度の講習会は、本会場での講演に加え、サブ会場や自宅等でのZoom視聴を設定しましたので、都合で本会場には来られない方もサブ会場やZoomで視聴していただくことができました。おなじみのお市青少年活動協会の山下氏、梅花女子大学の伊丹先生をはじめ、新たに講師として、みらいずの野田氏やNIT情報技術推進ネットワーク株式会社の篠原氏にも来ていただき、様々な視点から子供の置かれている現状や実態などの理解を深めることができました。また、4年ぶりに山田第二小学校において太陽の広場見学会を開催させていただき、2月に行ったこどもプラザ事業連絡会とともに、フレンド間で充実した交流をしていただけたかなと思います。

研修報告2

第3回青少年指導者講習会
令和5年10月19日(木)午前10時～
「子どもの貧困を考える」
野田 満由美氏
豊かに見える日本ですが、子供の貧困率はとても高く、貧困の連鎖がどのようにして起きるかを具体的にわかりやすく教えていただきました。貧困の連鎖を止めるにはどのような支援をすれば良いか、そしてどうすればその支援が子供に届くのか、考えていく必要があると感じました。

第4回青少年指導者講習会
令和6年1月19日(金)午後7時～
「スマホやSNSのトラブルから身を守るために」
～仕組みを知って被害を防ごう～
篠原 嘉一氏
無料のアプリの使用で漏洩した自分の情報が悪用されることがあり、結果として加害者や被害者になってしまう時代です。大人がその仕組みなどの実態を知り、ルールを決めて、子供たちがトラブルに巻き込まれるのを防ぐことが大切です。最後に篠原先生が、「子供たちに、対面で話し、一緒に体験活動することでスマホ以外の楽しさを実感させてあげていただきたい。」とおっしゃったのが印象的でした。



しる事がだいじ
こどものひんこんも
スマホやSNSのトラブルも

はいけいやくみを
まなぶ

てきせつな
サポートを

【発行・連絡先】
〒565-0824
吹田市山田西4丁目2番43号
子育て青少年拠点 夢つながり未来館(ゆいびあ)3F
吹田市教育委員会 地域教育部 青少年室
Tel 06(6816)9890 Fax 06(6816)8554
Mail kplaza@city.suita.osaka.jp

研修報告1

第1回青少年指導者講習会
第1回こどもプラザ事業連絡会
令和5年6月22日(木)午前10時～
「青少年活動における身近な安全管理」
山下 耕二氏 小松 真之氏
今年度も対面講習会で、熱中症やけが対応など、身近に役に立つ知識を教えてくださいました。また、心肺蘇生トレーニングツールの「あっぱくん」を使って実技も行いました。大きなけがはもちろんです、この夏の異常な暑さを思うと、熱中症対応の際の救急車の要請やAEDの使用などが常に大切だとあらためて感じました。

第2回青少年指導者講習会
令和5年9月29日(金)午後7時～
「今どき生きる子どもとの関わり方」
伊丹 昌一氏
コロナの影響もあり不登校児童が増えているという今、気になる子供の行動や状態などをお話いただくとともに、周囲の大人がどのような心構えで関わり支援していけばよいのかなどを教えてくださいました。子供の自尊心を高められるような接し方や声かけをしていきたいと思います。



胸骨圧迫・AED使用は
ためらわず

まよわず救急車を

おとなのえがおのおむこうに
こどものえがおがある
みらいはかえられる
こういてきなかがわりを!

じこやけがおきたときって
おとなでもばにっくになるよね
まいとしがくしゅうするって
だいじだね

佐竹台
わかたけまつり



吹六
活動プログラム



たいようのひろばも
ひさしぶりに
わかたけまつりにさんか!

かみねんどで
クリスマスツリーを
つくります



あついときでも
おへやでこうさく

西山田
室内工作



山二星空観望会



みんなでほしをみたよ
おつきさまもきれいだったな

コロナ禍を乗り越え 子供たちのこれからは...

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたことで学校の教育活動や子供たちを取り巻く状況については徐々に以前の状態に戻りつつあります。

地域の活動においても、久しぶりに制限を設けずに祭りや、フェスティバル、音楽会などを開催した地域や、コロナ禍で地域の活動について見直しを図り、防災訓練を実施したり各小中学校で花火大会、星空観望会を開いた地域もあります。

コロナ禍で体験活動の減少から、ともすれば子供たちの体力や運動能力、コミュニケーション能力や協調性の低下がいわれている中、さまざまな工夫で子供たちに体験活動の場を提供していただき子供たちの生活を豊かにしていただいていることはとてもありがたいことです。

吹三
カーニバル



津雲台
活動プログラム



よみきかせや
いごきょうしつで
たのしんだよ

佐井寺中学校区防災訓練

おはなしをきいたり
びちくそうこをかくにんしたり
ぼうさいいいきってほしいだね

おおきなぎょうじが
できるようになって
ほんとうによかったな

高野台中学校区フェスタ

3こう1えんのこどもたちが
うたったり
おどったり
えんそうしたり
みんなたのしそうだね

山田東中学校区フェスティバル



片山中学校区
街の小さな演奏会



この広報紙では学校支援や子育て支援、大人のネットワーク拡大や子供の課題の共有化を目的として地域教育協議会※の活動や講習会の案内、報告を紹介しています。

※地域教育協議会とは・・・市内全18中学校区内に設置されており、保・幼・小・中学校、PTA、自治会、青少年育成に関わる各種団体、地域の有志、子供たちによって構成され、子供たちを見守り育てる活動を行っています。